

NEXCO東日本グループ 価値創造ストーリー

NEXCO東日本グループは、高速道路の効果を最大限発揮させることにより、地域の発展と暮らしの向上を支え、日本経済全体の活性化に貢献することを経営の骨子として、地域・国・世代を超えた豊かな社会の実現に向け、「つなぐ」価値を創造し、あらゆるステークホルダーに貢献する企業として成長していくことを目指しています。

そして、未来に向けて、持続可能な社会の実現へ貢献し続けるため、NEXCO東日本グループが掲げてきたCSRキーワード「地域を

つなぎ 地域とつながる」に時間軸を加え「地域をつなぎ 地域とつながり 未来につなげる」としました。

「SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間」と位置づけ策定した「中期経営計画（2021年度～2025年度）」も事業環境の変化等を受けて見直しを行い、最終年度に向けてさまざまな取組みを推進していきます。

グループ経営理念

NEXCO東日本グループは、高速道路の効果を最大限発揮させることにより、地域社会の発展と暮らしの向上を支え、日本経済全体の活性化に貢献します。

グループ経営ビジョン

NEXCO東日本グループは、地域・国・世代を超えた豊かな社会の実現に向けて、「つなぐ」価値を創造し、あらゆるステークホルダーに貢献する企業として成長します。

グループ経営方針

- お客さまを第一に考え、安全・安心・快適・便利を向上させます。
- 公正で透明な企業活動のもと、経営資源を最適に活用することにより、健全なグループ経営を行うとともに、的確な企業情報の発信を行います。
- 終わりのなき効率化を追求し、技術とノウハウを発揮した事業により、社会の発展を支えます。
- グループ社員が健康でやりがいを持って働ける環境を整え、社員各自の努力とその成果を重視し、チャレンジ精神を大切にします。
- CSR経営を推進し、ステークホルダーにとどける価値とグループ全体の企業価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献します。

FY2021

FY2022

FY2023

FY2024

FY2025

CSRキーワード

地域をつなぎ 地域とつながり 未来につなげる

NEXCO東日本グループ 中期経営計画

(2021年度～2025年度)

SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【基本方針1】

安全・安心で自動運転等のイノベーションにも対応した快適な高速道路の実現

【基本方針2】

老朽化や災害に対する高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上

【基本方針3】

高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実

【基本方針4】

多様なお客さまのニーズを踏まえた使いやすさの追求

【基本方針5】

持続可能な社会の実現に貢献できるグループ全体の経営力の強化

【基本方針6】

社会の変化に対応できる人材力の強化と誰もが生き生きと働ける基盤の確立

おもな実績等

営業延長

交通量(1日あたり)

SA・PAの店舗売上高(飲食・物販)

債務残高(全国路線網)

温室効果ガス排出削減量
対2013年度(基準年)

2005年度
(民営化時)

2023年度
(最新データ)

3,348km

234万台

900億円
(2006年度)

28.9兆円

▲5%
(2022年度)

▲50%
(2030年度)

▲100%
(2050年度)

3,943km

297万台

1,046億円

19.4兆円

進化するベストウェイ

持続可能な社会の実現

レジリエントな高速道路と新たな価値創造の追求

温室効果ガス排出削減・気候変動への対応

▶ P.20～21

防災・減災への対応

▶ P.17～19

交通安全対策・渋滞緩和

▶ P.23～26

リニューアルプロジェクトの展開

▶ P.27～28

より魅力あるSA・PA

▶ P.29～30

ミッシングリンクの解消・4車線化の推進

▶ P.33～35

自動運転社会に向けた取組み(moVision)

▶ P.39～40

道路管理の効率化・高度化(SMH)

▶ P.41～42

人材育成・誰もが活躍できる職場

▶ P.63～64 ▶ P.67～68

取り巻く事業環境

事故・渋滞

老朽化

災害
(激甚化・頻発化)

ミッシングリンク

自動車の新技術

物流問題

脱炭素

少子高齢化

DX

企業理念

コーポレートガバナンス ▶ P.11、P.71～74

償還期間・料金徴収期間

持続可能な経営へ

(最大2115年まで)